

令和4年度事業報告

はじめに

令和4年度は、徐々に新型コロナウイルス感染症拡大も収束に向かいはじめ、2月には「マスク着用の考え方の見直し等について」が決定されるまでになり、かつての日常に戻りつつあります。

令和4年度事業は、令和2年度以降猛威を振るった新型コロナウイルス感染症によって中止となっていた自治体委託の介護予防事業や小学生対象の体験研修などが2年ぶりに再開されました。そして、地域の相互扶助活性化事業として日本財団より助成金を受け、新たな事業展開を図りました。一方、オンライン等の新たな手法を導入した部門は、活用を拡大、事業に合わせて改善を図りました。

総会・理事会の開催

令和4年度総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、Zoomによるオンラインと対面による直接参加の混合型会議で執り行いました。例年、実施している会員交流会は今回も開催を見送りました。

日時 令和4年6月23日 (議決権行使書等) 出席 60名

令和4年度理事会は、定款に基づき以下の通り7回、全てZoomによるオンライン併用で会議を実施しました。

回	理事会日程	主な議題
1	令和4年5月20日	令和3年度事業報告案、令和4年定時総会について
2	〃 6月2日	令和4年度定時総会議案
3	〃 7月29日	令和4年度第1四半期各事業報告
4	〃 10月27日	令和4年度上期各事業報告
5	令和5年1月26日	令和4年度第3四半期各事業報告
6	〃 3月23日	令和4年度第4四半期各事業報告 令和5年度事業計画、内閣府報告事項(令和5年度事業計画)

会員の動向に関して

《個人会員》

令和5年3月末会員数は、個人会員741名（正会員95名、賛助会員485名、配偶者会員161名）となり、前年度より60名減少しました。会員の減少傾向は続いています。

	会費納入			会費未納			合計		
	3月末	前年同月	前々年	3月末	前年同月	前々年	3月末	前年同月	前々年
正会員	79	93	101	16	10	27	95	103	128
賛助会員 配偶者会員	391	423	402	94	104	200	485 161	527 161	602 204
合計	407	516	503	110	136	227	741	791	935

	会費納入会員						会費滞納会員				配偶者 会員
	正会員		賛助会員		合計	前年 比	正会 員	賛助 会員	合計	前年 比	
	人数	前年比	人数	前年比							
北海道	0	-1	7	-6	7	-7	0	1	1	0	5
東北	5	0	43	0	48	0	1	15	16	-6	14
関東	60	-12	146	-3	206	-15	13	28	41	-81	59
信越	2	0	11	6	13	6	0	1	1	-5	3
中部	3	-1	53	-1	56	-2	0	23	23	-9	13
近畿	5	1	28	-5	33	-4	1	5	6	-7	7
中国	2	-1	39	-15	41	-16	1	0	1	-3	13
四国	1	0	47	0	48	0	0	4	4	-3	1
九州	1	0	17	-8	18	-8	0	17	17	-3	4
合計	79	-14	391	-32	470	-46	16	94	110	-117	161

《法人会員》

法人会員は、1社が退会、1社が解散で入会はなく合計12社（法人賛助会員9社、団体賛助会員3社）となり、昨年度14社から2社減少しました。

法人 賛助	久光製薬(株)、トッパン・フォームズ株式会社、(一社)日本青少年育成協会、(一財)高齢者住宅財団、NPO法人SSSネットワーク、NPO法人東京山の手まごころサービス、NPO法人ウェアラブル環境情報ネット推進機構、YKK AP(株)、(一社)日本産業カウンセラー協会
団体 賛助	NPO法人日本心身機能活性療法指導士会、NPO法人りすシステム、(公財)さわやか福祉財団

事業に関して

令和4年度は、事業計画に則り、公益事業及び収益事業を以下の通り実施しました。

今年度の法人決算は、コロナ禍による影響が少なくなり事業再開等増えたことから、みなと*しごと55が令和3年度末閉館になったのにもかかわらず、収入が16,463万円（対前年度比+749万円）と増加し、収支331万円の黒字となりました。

(単位=千円)

収入実績	支出実績	収支実績
164,630	161,314	3,316

【公益事業報告】

〔公1事業〕

≪高齢者福祉増進・啓発事業≫

○高齢者の福祉・健康・いきがづくり等支援事業 (千葉県福祉ふれあいプラザ指定管理)

千葉県福祉ふれあいプラザ(ふれプラ)の指定管理者として法令を遵守し、承認された事業計画に基づき、NPO法人ACOPAとの共同事業体で運営しました。

・運営評価

令和4年度は、第5期指定管理(令和4年4月1日～令和7年3月31日)の初年度であったが、コロナ感染症も蔓延防止等重点措置等が解除され落ち着きを見せ始め、利用者が戻りはじめ、利用料も回復傾向にあります。その中で、専門職研修等におけるオンライン研修の拡大、各部門における新たな企画、事業にチャレンジをして、さらにステップアップして実行した意義ある一年となりました。

〈介護実習センター〉

県民研修のうち一般県民研修は60講座、専門職研修は40講座、合計100講座4,517人(前年度4,325人)が受講しました。内、オンライン研修は25回1,698人(前年度1,156人)と専門職研修の6割強がオンライン研修へと移行しつつあります。そして、新たな企画として、県民研修ではボランティア研修(全8回)を開催又ケアラズカフェ(オンライン)を開催しました。

〈介護予防トレーニングセンター〉

登録累計者数823人(前年度715人)と利用者が戻りつつあります。年間利用者数は26,405人、うち介護予防講習は年間476回(前年度394回)利用者数8,449人と講習回数は大幅に増えました。また、数年行っていなかったイベント「認知症予防 エンジョイ!体力測定」を開催(85名参加)、そして、昨年度はオンライン研修にて実施した国際医療福祉大学看護学生の実習を受入れしました。

(実習生105名)

〈ふれあいホール〉

年間利用者数は68,126人(前年度44,780人)と利用人数制限等を完全撤廃し、利用者数は昨年度より2万3,000人ほど増えました。そして、2月には自主的事業として「スプリングコンサート」を数年ぶりに開催。405名の方が参加され大盛況に終わりました。

	R4年度予算	R4度実績	R3年度実績
総利用者数(人)	110,000	122,571	89,562
利用料収入(円)	20,010,000	21,912,840	16,887,170

○福祉サービスの質の向上事業

(福祉サービス第三者評価事業)

WACの福祉サービス第三者評価事業は、東京都から第三者評価者機関としての認証を受けて実施しています。評価した報告書内容は東京都から公表されます。

コロナ禍において、高齢者や障害者、保育園等の第三者評価を行うことは、感染リスクはもとより、施設や職員、利用者にとっても非常時であり、面会・外出等の制限の長期化は、昨年度以上に通常とは異なる福祉サービスの現状を垣間見ることになりました。

・実績

令和4年度は、収入予算 15,000 千円に対して、収入実績は 17,711 千円でした。

第三者評価、利用者に対する調査を行った事業者数は 57 件、5 年連続 50 件以上となりました。

(単位=千円)

収入実績	支出実績	収支実績
19,302	17,380	1,922

○長寿社会の啓発事業

(「ふれあいねっと (会員向け情報誌)」の発行)

機関誌「ふれあいねっと」は、285 号、286 号まで、各 12 ページの 1,500 部発行し、会員及び関係各所に配布しました。

	発行月	主な内容
ふれあいねっと 286 号	R5 年 2 月	地域ボランティアのすすめ
ふれあいねっと 285 号	R4 年 8 月	定時総会、事業報告、WAC ポイント活動一覧

(単位=千円)

収入実績	支出実績	収支実績
0	2,326	▲2,326

〔公2事業〕

≪高齢者の雇用・就労支援事業≫

令和3年度末にて「みなと＊しごと 55」が閉館となり、WAC 本部事務局が事業を継続することになりました。自治体委託の就労支援、就職相談会の受注と高齢者の生きがい就労のための相談事業を目指し、足立区にて「介護のしごと相談・面談会」を行いました。

○足立区「介護のしごと相談・面談会」

- ・第1回 11月8日 シアター1010 (北千住) 出展社 26社 来場者 40人 (予約制)
- ・第2回 1月21日 " 出展社 25社 来場者 50人 (予約制)

(単位=千円)

収入実績	支出実績	収支実績
2,365	3,428	▲1,063

〔公3事業〕

≪地域の相互扶助機能活性化事業≫

●コミュニティカフェ養成研修等

令和4年度のコミュニティカフェ養成研修は、埼玉県、千葉県 の 2ヶ所で実施しました。

そして、新たに千葉県福祉ふれあいプラザ県民研修煮てボランティア入門研修を開催しました。

- ・埼玉未来大学コミュニティカフェ開設研修 10月8日～2月11日 全15回
受講者 340名
- ・千葉県福祉ふれあいプラザ一般県民研修
 - ・コミュニティカフェ開設講座 5月22日～8月7日 全10回 受講者 482名
 - ・ボランティア入門講座 8月27日～11月27日 全8回 受講者 57名

(単位=千円)

収入実績	支出実績	収支実績
990	1,171	-181

●日本財団助成事業「コミュニティカフェ等、地域共生社会のための活動の担い手育成事業」

仙台市と京都市で、コミュニティカフェ等の地域ボランティアに関する啓発イベントと養成講習を実施しました。

・啓発イベント（開催後オンデマンド配信）

仙台開場 9月25日（基調講演、パネルディスカッション）

京都開場 10月2日（基調講演、パネルディスカッション）

・地域共生ボランティア養成講習

仙台開場 10月22日、11月5日

京都開場 10月23日、11月6日

(単位=千円)

収入実績	支出実績	収支実績
1,620	3,340	▲1,720

【収益事業報告】

〔収1事業〕

≪高齢者福祉関係人材育成事業≫

- ・新宿区 家族介護講演会、家族会支援ボランティア研修 (825,000円)
講演会 7月27日、講師 町 亜聖 参加者 40名
ボランティア研修 9月22日、29日 2H×2日 10名
交流会 2月1日 40名参加
※令和5年度 事業継続
- ・文京区 介護人材確保・定着に係る介護の入門的研修 (571,950円)
研修 9月15日、28日、10月5日、11日、20日 5H×5日 受講生6名
アンケート 2月末に提出済
- ・品川区 介護施設従事者高齢者虐待防止研修 (752,180円)
区との協議（第1回8月24日、2回11月22日）、調査（施設アンケート）
高齢者虐待防止プログラム1,2及び管理者用解説の作成（プログラム案12月納品）
研修説明会の実施（2月8日、16日）
- ・東京しごと財団 生涯現役セミナー 6/21～3/13 60講座 (23,012,660円)
電話受付、5月23日から開始、1教室概ね30名
※令和5年度も事業継続
- ・東京しごと財団 家事援助・生活支援セミナー (1,966,800円)
年6回開催
※令和5年度も事業継続
- ・東京しごと財団 生活支援サービス研修
- ・千葉県福祉ふれあいプラザ県民研修等 (約380万円)

(単位=千円)

収入実績	支出実績	収支実績
30,547	27,756	2,791

〔収2事業〕

≪高齢者・認知症疑似体験事業≫

疑似体験事業は、台東区の小中学校の体験学習委託が開催となりました。

インストラクター研修の出張研修が高知県社協で開催しました。

年4回のWACで開催するインストラクター研修もオンラインで開催することで受講生数を増やすことができました。

販売はサマーセールと年度末セールを実施しました。

・認知症疑似体験

貸出1件、NPO法人日本福祉ネットワーク協会体験者4人 神奈川県立衛生看護学校 2年生
対象に認知症研修 受講生80名

・インストラクター養成研修

インストラクター養成研修は、昨年度に引き続き、コロナ禍に対応したZoomによるオンライン研修として実施しました。定期研修は4回開催、個別研修は2件対応しました。

	令和4年度	
インストラクター養成研修	回数	人数
(高齢者疑似体験)	4	43

(単位=千円)

収入実績	支出実績	収支実績
7,822	5,612	2,210

〔収3事業〕

≪介護予防事業≫ (品川区委託事業)

- ・男の手料理教室、
- ・地域活動連携型介護予防事業 (わくわくクッキング)、
- ・外出習慣化事業 (食事処)

高齢者の介護予防事業として、品川区から平成15年より委託を受けて実施しています。

令和4年度は会場での飲食はできず、持ち帰りではありましたが、開催することができました。

WACポイントの「WACさしすせそ」と運営をしています。

令和5年度も引き続き開催します

(単位=千円)

収入実績	支出実績	収支実績
4,569	3,825	744